

《履修上の留意事項》【遠隔授業のみ実施】

《担当者名》本谷 亮

【概 要】

臨床心理学とは、応用心理学の1つであり、心理学的な諸理論や科学的知見に基づく方法を実践し、問題行動の改善、心理社会的な不適応状態の解消、さまざまな病理的問題の解決、あるいは人格的な成長の促進を目指す学問、かつ専門的な援助体系である。

本講義では、臨床心理学の入門コースとして、臨床心理学の成り立ち、および臨床心理学の代表的な理論について学習する。そして、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野における主な問題に対する援助方法、および臨床の実際の概要について学び、2年次以降の発展科目や実践科目での理解が深められるような基盤となる知見を身につけることを目指す。

【学習目標】

臨床心理学の定義、基本的概念、位置づけを理解する。

臨床心理学の歴史と展開を理解する。

臨床心理学の代表的な理論について理解する。

さまざまな心理療法とその理論について理解する。

臨床心理学的アセスメントの定義、目的、主要な方法について理解する。

臨床心理学研究の意義、方法とその特徴、および「エビデンスに基づく臨床心理学」について理解する。

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野における主な問題と心理学的支援の基本について理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	臨床心理学の定義、基本的概念、位置づけ	臨床心理学の定義、基本的概念、心理学における臨床心理学の位置づけについて学習する。	本谷 亮
2	臨床心理学の歴史と展開	臨床心理学の成り立ちを学び、国内外で臨床心理学がどのように発展してきたかについて理解する。	本谷 亮
3	臨床心理学の理論 1 (精神力動論)	精神力動論について歴史、基本的発想、意義、展開を学習する。また精神力動論に基づく治療法を学ぶ。	本谷 亮
4	臨床心理学の理論 2 (行動理論)	行動理論について、歴史、基本的発想、意義、展開を学習する。また、行動理論に基づく治療法を学ぶ。	本谷 亮
5	臨床心理学の理論 3 (認知理論、認知行動理論)	認知理論、認知行動理論について、歴史、基本的発想、意義、展開を学習する。また、認知理論、認知行動理論に基づく治療法を学ぶ。	本谷 亮
6	臨床心理学の理論 4 (人間性心理学理論)	人間性心理学理論について、歴史、基本的発想、意義、展開を学習する。また、人間性心理学理論に基づく治療法を学ぶ。	本谷 亮
7	さまざまな心理療法とその理論 1	家族療法、集団療法、コミュニティアプローチについて、関連する理論と治療・アプローチの実際を学ぶ。	本谷 亮
8	さまざまな心理療法とその理論 2	日本独自の心理療法（森田療法、内観療法、動作療法）について、関連する理論と治療・アプローチの実際を学ぶ。また、心理療法の折衷について学習する。	本谷 亮
9	臨床心理学的アセスメント 1	臨床心理学的アセスメントの定義、目的、プロセスについて学習する。また、ケースフォーミュレーションの定義、目的、具体的な方法について学ぶ。	本谷 亮
10	臨床心理学的アセスメント 2	臨床心理学的アセスメントの主要な方法である面接法、観察法の特徴と具体例を学ぶ。	本谷 亮
11	臨床心理学的アセスメント 3	臨床心理学的アセスメントの主要な方法である心理検査法の特徴と具体例（知能検査）を学ぶ。また、代表的な検査の成り立ちについて学ぶ。	本谷 亮
12	臨床心理学的アセスメント 4	臨床心理学的アセスメントの主要な方法である心理検査法の特徴と具体例（性格検査、発達検査）を学ぶ。また、代表的な検査の成り立ちについて学ぶ。	本谷 亮

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
13	臨床心理学研究	臨床心理学研究の意義、具体的方法とその特徴、および治療効果のエビデンスについて学ぶ。また、「エビデンスに基づく臨床心理学」の定義、発想、意義について学習する。	本谷 亮
14	心理学的支援の実践 1 (保健医療、福祉分野)	保健医療、福祉分野における主な問題、心理学的支援の基本と実際について学ぶ。	本谷 亮
15	心理学的支援の実践 2 (教育分野、司法・犯罪、産業・労働分野)	教育分野、司法・犯罪、産業・労働分野における主な問題、心理学的支援の基本と実際について学ぶ。	本谷 亮

【評価方法】

ワークシート20%、期末試験80%

【備 考】

教科書 : 適宜プリントを配布する。

参考書 : 野島一彦・岡村達也(編) 「公認心理師の基礎と実践3 臨床心理学概論」(遠見書房)
坂野雄二・菅野 純・佐藤正二・佐藤容子 「臨床心理学」(有斐閣)
坂野雄二(編) 「臨床心理学キーワード」(有斐閣)
丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 「臨床心理学」(有斐閣)

その他 : 本講義は心理科学部臨床心理学科の研究協力者プール・クレジットシステムを使用するため、研究への参加・協力に応じて、5%を上限として最終評価への加点が行われる可能性がある(詳細は初回講義時に説明する)。

【学習の準備】

- ・ 毎回、講義冒頭で実施する復習問題で全問正解できるように、前回の講義内容を復習しておくこと(60分)
- ・ シラバス記載の内容を参考に、参考書、関連書などで講義内容を予習すること(30分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。(DP1)
上記に掲げる心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

本谷 亮(公認心理師)

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての実務経験を活かし、臨床現場の実際を織り交ぜ、実践的な理解が進むような教育を行う。